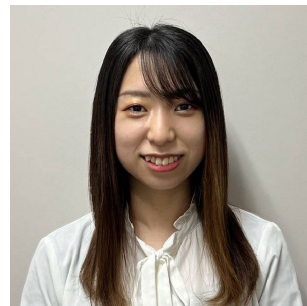


N.W. 2022年卒 地域マネジメントコース

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

みなさん、漫画やドラマでも放送された「健康で文化的な最低限度の生活」を知っていますか？私はそのドラマの中で主人公が演じていた生活保護のケースワーカーをしています。私の所属している保護課は、日本国憲法25条の理念に基づき、健康で文化的な最低限度の生活を保障し自分の力で生活できるよう支援する制度に基づいて業務を行っています。私はケースワーカーとして、受給者の方が適切な制度を使えるようにしたり、相談や支援を行ったりしています。



学群生時代に力を入れたこと

実習活動とゼミ活動です。地域の方と密になって交流したりコミュニケーションをとったりするのは学群ならではの活動だと思いますので、積極的に取り組んできました。ゼミは廣川ゼミに所属し、フットパスを通してまちづくりについて研究していました。

学群での学びの何が、今に繋がっているのか

私は1年生の頃は地域福祉コースの実習で、特に「個」に向けてのアプローチの方法を学び、現在ケースワーカーとして一人一人に合った支援の方法は何か考える力に結びついていると思います。2年生から地域マネジメントコースのゼミへ入り、全体を見てどのようなイベントの運営をするかを学び、現在では、全体を把握してどのように働きかけていく業務を行っていくかを考えるところに繋がっていると思います。さらに、このような実習活動やゼミ活動を通じて培った、お世話になった地域の方に恩返しをしたい、学群でのノウハウや知識を活かして北九州市を活性化させたいという思いが現在の仕事に繋がっています。

現役生へのメッセージ

地域創生学群では、貴重な経験がたくさんできる環境が整っています。ぜひ学生の内に、貴重なたくさん経験をしてみてください！